

（４）増加が目立つ相談内容

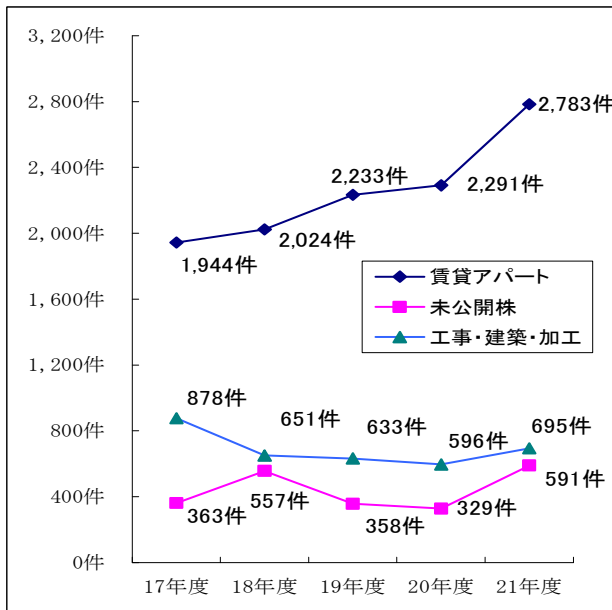
- ① 前年度と比較して相談件数の増加が目立つ商品・役務は、第一に「レンタル・リース・貸借」である（22.0%増）。その中で最も多いのが「賃貸アパート」の相談であり、これは敷金など保証金返還のトラブルの他、家賃更新料の問合せや、家賃保証に関するトラブルが増えているためである。第二に、「預貯金・証券等」であり（20.5%増）、その中で最も多いのが「未公開株」である。第三は「工事・建築・加工」であり（16.6%増）、中でも増加が目立つのは「増改築工事」「衛生設備工事」などのリフォーム工事契約に関する相談である。（表－8）

【表－8】相談件数の増減が著しい主な商品・役務別分類（平成21年度）

商品・役務名	21年度	20年度	増減	対前年度比	備考
レンタル・リース・貸借	3,481	2,853	628	122.0%	
賃貸アパート	2,783	2,291	492	121.5%	保証金返還、更新料問合せ、家賃保証トラブル等
預貯金・証券等	1,040	863	177	120.5%	
未公開株	591	329	262	179.6%	
工事・建築・加工	695	596	99	116.6%	
増改築工事	102	82	20	124.4%	耐震工事やその他の増改築工事等
衛生設備工事	78	70	8	111.4%	トイレや浴室等の設備工事等
新築工事	141	134	7	105.2%	

- ② 前年度と比較して増加が目立つ商品・役務を年度別推移でみると、「賃貸アパート」は平成17年度から増加傾向にあり、平成21年度は特に増加率が大きい。「未公開株」については、平成18年度に増加し、その後一旦は落ち着きを見せていたが、平成21年度に入って再び急増している。「工事・建築・加工」については、平成17年度以降減少傾向にあったが、平成21年度は再び増加に転じている（図－11）。  
また、平成21年度の「未公開株」の相談について年代別に見ると、全体の4分の3が60歳以上の高齢者となっている。（図－12）

【図－11】「賃貸アパート」「未公開株」「工事・建築・加工」の相談件数の推移



【図－12】「未公開株」の契約当事者年代別（平成21年度）

